

平成28年省エネルギー基準対応 JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書（附属書）

自己適合宣言書文書番号	ST73002	附属書番号	ABN0250A2
発行者の名称	三協立山株式会社 三協アルミ社		
作成日	2020年12月2日	改訂日	2021年5月18日
商品	防火窓アルジオ		
仕様	複層ガラス		
窓種	採風勝手口ドア（横引き窓）		

■本附属書は、自己適合宣言書と合わせてお使いください。

（開口部の熱貫流率）

- 試験値はJIS A 4710に基づき試験により測定した代表試験体の熱貫流率です。
- 計算値はJIS A 2102に基づき社内にて算出した代表試験体の熱貫流率です。
- 付属部材が付与される場合の開口部の熱貫流率は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の「第三節 熱貫流率及び線熱貫流率 5.2.2 付属部材が付与される場合および 5.2.3 風除室に面する場合」に基づく値です。
- 代表試験体は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の「窓・ドアの熱貫流率に同じ試験体と同等の性能を有すると認められる評価品の範囲を定める基準」に基づきます。
- 記載されている内容は、製品の仕様変更等により、予告無く修正する場合がありますのであらかじめご了承ください。

（日射熱取得率）

- 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の「第四節 日射熱取得率 6 大部分がガラスで構成されている窓等の開口部 および 7 大部分がガラスで構成されていないドア等の開口部」に基づく値です。
- 開口部の日射熱取得率は、ガラスの日射熱取得率に0.8の係数を掛けた値です。（小数第三位以下四捨五入）
- 当社ホームページ内「④ 建具とガラスの組み合わせ」の「開口部の熱貫流率・日射熱取得率」の値もご使用いただけます。
- 住宅の仕様基準判断にご使用の場合は、<住宅 仕様基準判断用日射熱取得率（ガラスの日射熱取得率）>をご使用ください。

■ガラス構成ごとの開口部の熱貫流率区分・開口部の日射熱取得率

ガラス構成					アルゴンガス入り					空気				
					一般ガラス					一般ガラス				
					透明		型			透明		型		
室外ガラス厚					6.8	6.8	6.8	型6.8	型6.8	6.8	6.8	6.8	型6.8	型6.8
中空層厚					16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
室内ガラス厚					3	4	5	3	4	3	4	5	3	4
熱貫流率区分	Low-E	グリーン	IGW	SLGYグリーン（Low-E室内使い）	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B
			IGW	SLGJグリーン（Low-E室内使い）	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B
		クリア	IGW	DLGPクリア	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B
日射熱取得率	Low-E	グリーン	IGW	SLGYグリーン（Low-E室内使い）	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34
			IGW	SLGJグリーン（Low-E室内使い）	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
		クリア	IGW	DLGPクリア	0.42	0.42	0.41	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42

<住宅 仕様基準判断用日射熱取得率（ガラスの日射熱取得率）>

日射熱取得率	Low-E	グリーン	IGW	SLGYグリーン（Low-E室内使い）	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42
			IGW	SLGJグリーン（Low-E室内使い）	0.44	0.44	0.44	0.44	0.44	0.44	0.44	0.44	0.44	0.44
		クリア	IGW	DLGPクリア	0.52	0.52	0.51	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52

開口部の熱貫流率

アルミサッシ仕様						
区分記号	ガラス中央部の熱貫流率 [W/m ² K]	開口部の熱貫流率 [W/m ² K]			試験値	計算値
		付属部材無し		風除室あり		
A	1.2 以下	2.03		1.69	○	
B	1.4 以下	2.10		1.74	○	